

「防災推進国民大会 2022」 出展報告

<イベント概要>

名 称： 第7回 防災推進国民大会 2022 in 兵庫（ぼうさいこくたい 2022）
開催期間： 2022年10月22日（土）～23日（日）
テ ー マ： 未来につなぐ災害の経験と教訓～忘れない、伝える、活かす、備える～
会 場： HAT神戸エリア
主 催： 防災推進国民大会 2022 実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）
協 力： 兵庫県、神戸市、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
対 象 者： 防災に関心のある方、学びたい方（入場無料）
来場者数： 約12,000人
参 考： 神戸新聞NEXT 2022/10/22 [震災の教訓、災害の備え発信 神戸で「ぼうさいこくたい」開幕](#)
次回開催： 神奈川県横浜市（横浜国立大学）[2023年9月17日（日）・18日（月・祝）]

<日建連 ブース出展概要>

出展タイトル： 「建設会社の防災活動」
場 所： 人と防災未来センター 西館1階ロビー
担当部会： 災害対策委員会 BCP部会
出展協力： 日建連 関西支部事務局
来場者数： 2日間合計 約1,000名（初日：約600名、最終日：約400名）
出展内容： ・パネル展示や事務局による説明を通じた災害対応取組のPR
- 会員会社の全国的ネットワークを活用した機動的な対応力
- 指定公共機関である日建連は行政機関等115機関と災害協定締結
- 具体事例として、熱海市伊豆山土石流災害(2021.7.3)復旧工事
・日建連広報誌Ace、日建連パンフレット等の配布を通じたPR



ブースの展示内容

展示パネル：次ページ以降に掲載（全10枚）

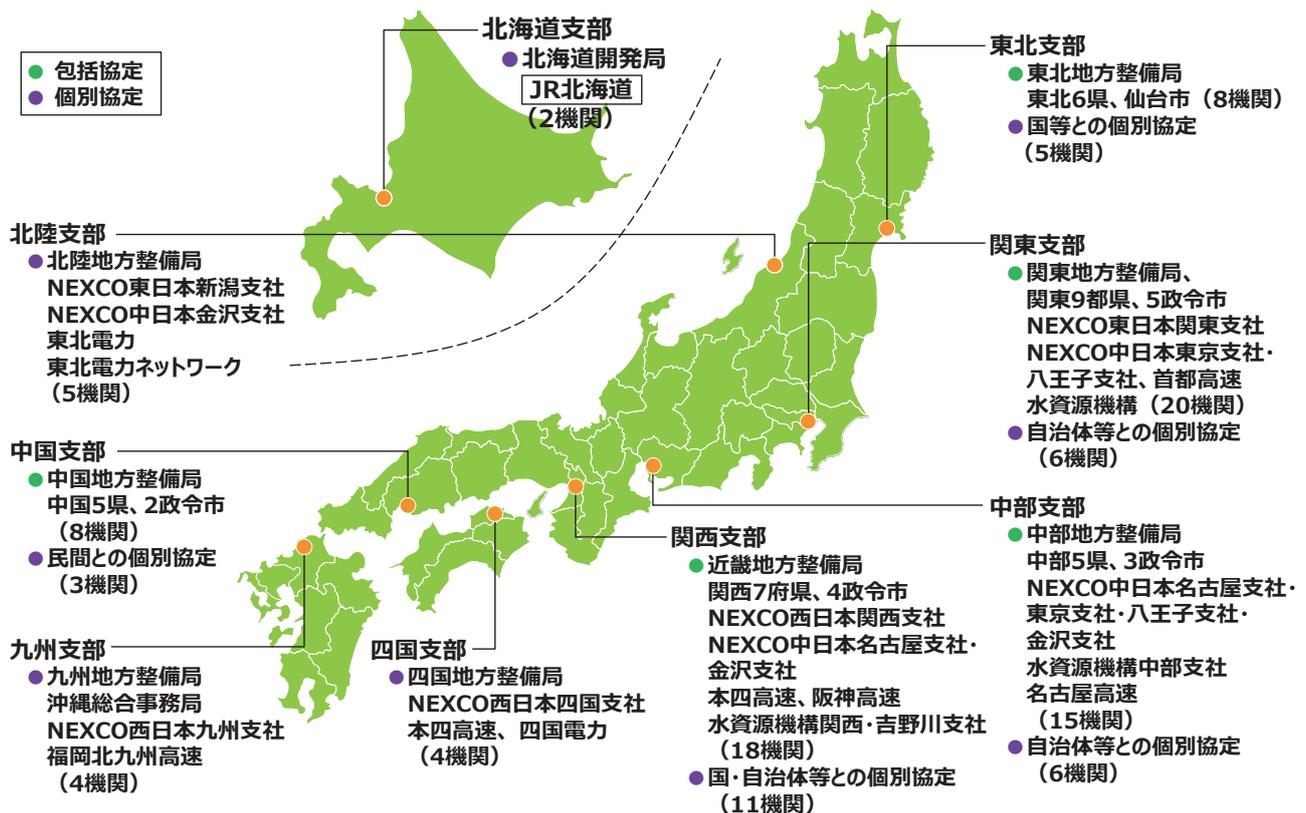
日本建設業連合会（日建連）の災害対応

- 日建連は、全国規模の建設会社141社と関連団体等からなる一般社団法人
- 災害対策基本法の指定公共機関に指定（2015年4月）
 - ⇒大災害時には、直ちに緊急災害対策本部を設置
 - ⇒要請に基づいて緊急災害対応活動を実施
- 行政機関やインフラ管理会社等115機関と災害協定を締結
- 大規模かつ広範囲な災害に対し、広域ネットワークを活用した機動的な対応力を発揮
 - ⇒道路・航路の啓開、緊急物資・資機材の調達・運搬、建造物の応急復旧・復興等



ACe建設業界2012.4より抜粋

日建連と国土交通省、地方自治体等との災害協定



- 熱海雨量観測所における総雨量は400mm以上、7月2日12:30に土砂災害警戒情報発表。
- 令和3年7月3日10時30分頃に静岡県熱海市伊豆山の逢初川で土石流が発生。
- 標高約390m地点で発生した崩壊による土石流により、**死者26名**、行方不明者1名、**住宅被害は128棟**の甚大な被害が発生。
- 国土交通省との災害時等の包括的協定に基づき、**当会会員会社が復旧工事**を実施。



出典：国土交通省

被災状況





発災後1ヶ月半

機材搬入

一日でも早く

熱海市伊豆山土石流災害 (2021.7.3) の復旧工事

一般社団法人日本建設業連合会
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS



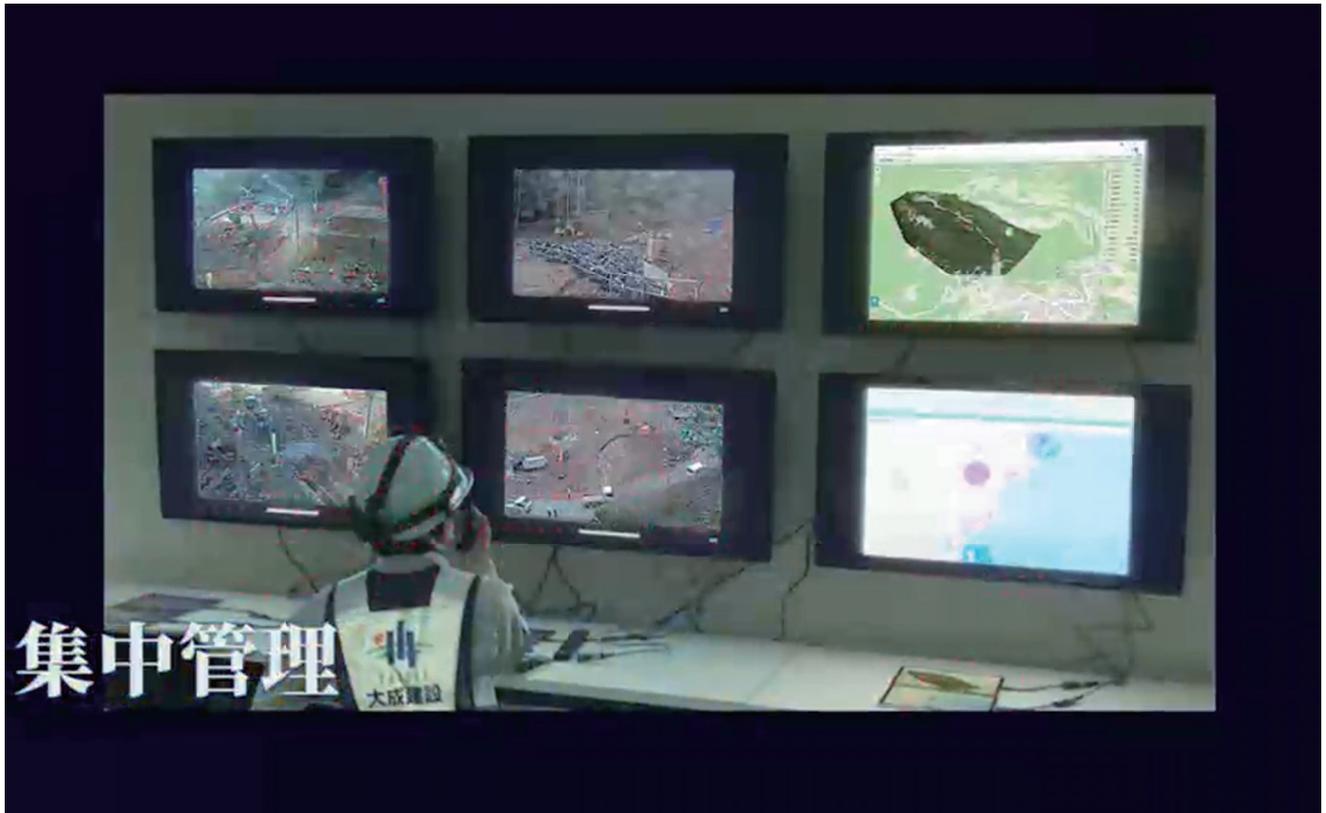
発災後1ヶ月半

支障物撤去

倒木・・・転石・・・

熱海市伊豆山土石流災害 (2021.7.3) の復旧工事

一般社団法人日本建設業連合会
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS



熱海市伊豆山土石流災害 (2021.7.3) の復旧工事

一般社団法人日本建設業連合会
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS



熱海市伊豆山土石流災害 (2021.7.3) の復旧工事

一般社団法人日本建設業連合会
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS



発災後4ヶ月

仮堰堤設置
より安全に

熱海市伊豆山土石流災害 (2021.7.3) の復旧工事

一般社団法人日本建設業連合会
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS



発災後8ヶ月

新堰堤建設
さらなる安全・安心のために

熱海市伊豆山土石流災害 (2021.7.3) の復旧工事

一般社団法人日本建設業連合会
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS